

本意見募集の内容

2022年6月22日

宇宙飛行士運用技術ユニット

1. 背景(説明会ポイント整理)
2. 目的
3. 依頼内容
4. ご意見の提出期限/ご質問等の受付/今後のスケジュール
5. ご提出いただいた情報の取扱いについて

1. 背景(説明会ポイント整理)

- 地球低軌道での活動状況と今後の展望
 - ✓ これまでは各国政府機関が中心の活動
 - ✓ 現在は民間企業による地球低軌道の活動が活発化
 - ✓ 今後その傾向はさらに加速すると考えられる

- JAXAによる生鮮食品輸送事業概要とその成果
 - ✓ 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(以下「HTV」という。)により全数無事輸送
 - ✓ その過程で、確実な輸送のための技術要件と搭載手順を確立
 - ✓ JAXAが輸送した生鮮食品は宇宙飛行士に高評価
 - ✓ 宇宙生活を快適に送るうえで生鮮食品は必要不可欠なものであることを再認識

- 生鮮食品輸送事業のポテンシャル
 - ✓ 宇宙旅行者への提供
 - 宇宙旅行産業の市場規模は年平均86%程度の成長率と予測され、2028年時点では34億ドル程度まで成長する
 - ✓ 国内流通の広告宣伝で活用
 - 野菜・果物の卸売価額はともに1兆円を超えており、非常に大きなマーケットである
 - ✓ 生鮮食品の保存技術を海外輸出へ活用
 - 2020年から2021年にかけて青果物の輸出額は28.0%増加し、今後も増加傾向は継続すると想定

2. 目的

【目的】

本意見募集は、将来の地球低軌道における新たなビジネス・サービスの創出を念頭に置きながら、生鮮食品ISS搭載事業の新たな枠組みについてJAXAの検討を深めることを目的とする。

↓そのために

- 将来の地球低軌道における新たな輸送ビジネス・サービスを見据えた**事業(ビジネスモデル)のご意見(アイデア)を募集**(詳細は次ページ)
 - ✓ HTV-Xによる輸送をその実証の場としてご活用可能
 - ✓ 将来的には食品以外の輸送事業への展開を想定するビジネスモデルも歓迎

※将来的に事業参画に係る公募も視野に入れておりますが、公募や企画提案要請(RFP: Request for Proposal)が発出されることをお約束するものではないことをご理解ください。



3. 依頼内容

JAXAでは、民間企業等が、主体となって地球低軌道への生鮮食品の輸送(生鮮食品の調達、ISS輸送等を含む)の事業を実施いただける方策を検討しています。

上記に関し、以下のご意見・情報等を御寄せください。

1. 地球低軌道における新たな生鮮食品輸送ビジネスを見据え、御社独自のリソース(施設・設備・情報システム、技術・ノウハウ、ネットワーク・流通販売網、他関連事業等との連携および人材など)を活用しながら、**御社が主体となって実施できる事業モデル/アイデア**(別紙1「技術的要件の適合性確認」における評価方法、プロセス及び手順を改良するアイデア等含む)、**及びその期待される効果**。(地上のビジネスと連携するものであっても問題ありません。)
2. 上記事業モデル/アイデアの**実現性**、成立させるための**障壁、制約**。また、**実現に必要な期間**。
3. 上記事業モデル/アイデアを実現させるうえで**JAXAから提供が必要な施設、設備、人材など**(JAXAが行ってきたISS生鮮食品搭載事業の流れは公開ページの別紙1をご参照ください。)
4. **その他、JAXAへの要望**(権限委譲、広報支援、ノウハウ提供、制度面など)。



3. 依頼内容

なお、JAXAからは以下のものが提供可能と想定しています。(現時点で確約するものではないことご了承ください。)

- ① HTV-Xを用いた[ISSへの生鮮食品搭載機会\(有償・無償の別は未定\)](#)
- ② これまで[JAXAが蓄積・確立した技術・プロセス](#)
(保存試験や除菌作業の手順等の生鮮食品の常温1ヶ月の保存技術含む)
※[「JAXAによる生鮮食品輸送事業概要とその成果」資料参照](#)
- ③ 以下の[広報素材](#)(想定)
 - ✓ 搭載された生鮮食品の軌道上の映像・画像
 - ✓ 喫食した宇宙飛行士の感想(テキスト情報)
 - ✓ 搭載された事実
 ※[「生鮮食品輸送事業のポテンシャル」資料の宇宙日本食の広報利用事例参照](#)



なお、上記をご検討にあたっては、次の点にご留意ください。

- HTV-Xへの複数回の搭載機会(予定)をビジネスモデル等の実証の場としてご活用いただけることを想定しています。[搭載時期、費用負担\(有償・無償の別\)等については未定ですが、ご提案の条件としてご提示ください。](#)(例:「無償で〇〇回の搭載機会を希望します。」)
- また、[HTV-Xだけでなく、米国等の海外からの輸送機等も使える可能性があり](#)、それらを含めて、ビジネスモデルをご検討いただいてもかまいません。(有償・無償の別、打上頻度などは未定)

4. ご意見の提出期限/ご質問等の受付/今後のスケジュール

<ご意見の提出期限>

本意見募集で提出いただくご意見は、公開ページの別紙2に従いご記入の上、[回答フォームより2022年8月5日\(金\)17時まで](#)にご提出ください。

回答フォーム

<https://humans-in-space.jaxa.jp/biz-lab/contact/fresh-food/>

<ご質問等の受付について>

[ご質問等については、回答フォームにて受け付けいたします](#)。ご質問等は、ご意見の提出期限までの間、随時受付し、メールによる回答の他、必要に応じて秘密保持契約を取り交わした上で対話の機会を設定いたします。

<今後のスケジュールについて>

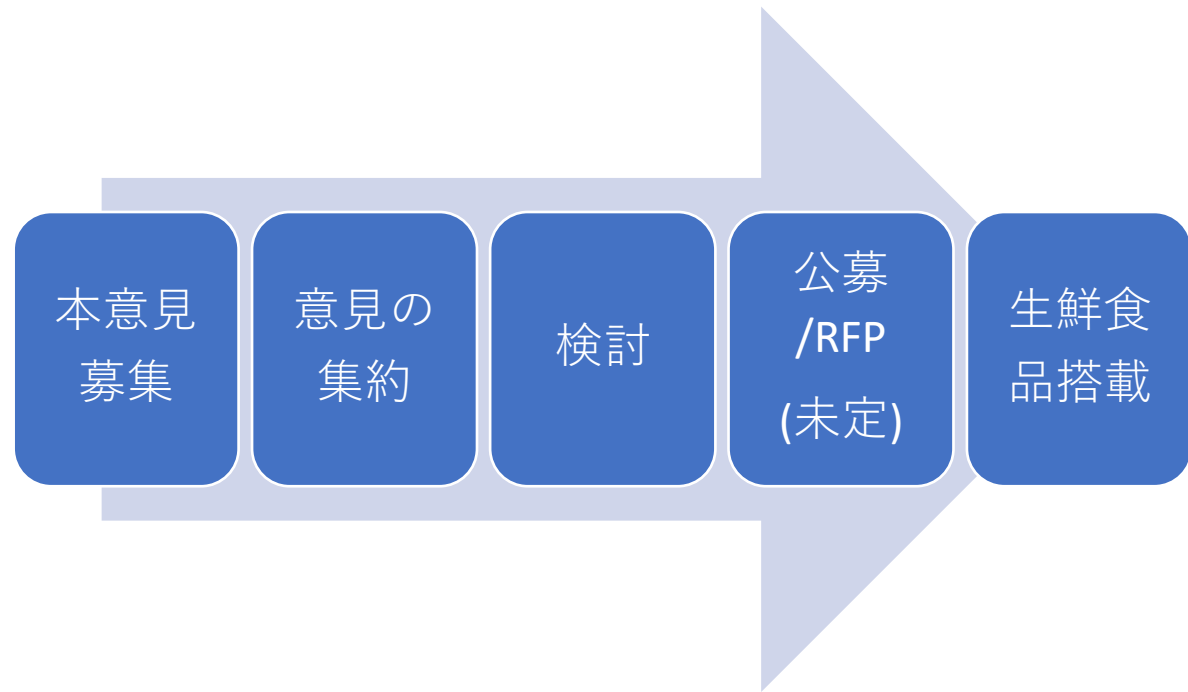
2022年5月23日 RFI発出

2022年6月22日 説明会 ★本日

2022年8月5日 RFI締切

2022年8月6日～ JAXAにてRFI集計および仕様検討
→いただいた情報を元に搭載スケジュール等検討
～

2023年度後半 ISSへの生鮮食品搭載(未定)



5. ご提出いただいた情報の取扱いについて

ご提出いただいた情報は、返却いたしません。また、情報の作成及び送付等に掛かる全ての作業及び費用等のご負担は、ご提案者側にてお願いいたします。

情報につきましては、本要請の目的以外には使用せず、JAXA内の生鮮食品ISS搭載事業検討の関係者間のみで取扱うこととし、ご提案者への事前の合意なしに第三者への開示はいたしません。ご提供いただいたご意見の書面に情報提供者が保有する情報が含まれる場合には当該頁右上に「第三者開示制限」を記すものとします。ただし、ご意見の書面全体に左記情報が含まれている場合は、ご意見の書面の表紙に「全頁第三者開示制限」と記す方法をもって各頁への個別の表示に代えることができ、各頁への個別の表示を省略することといたします。

JAXAでは、本意見募集の結果も踏まえつつ、公募やRFPについて検討しますが、ご提出いただいた情報が、公募やRFPへ反映されることは確約できません。また、本意見募集にご応募いただくことは、今後の公募やRFPへ参加するための必須要件ではなく、本意見募集にご応募いただいたことにより、ご提案者の評価が優遇されるようなことはありませんので、予めご承知おきください。

なお、公募やRFPを公示する際、個別にご連絡はいたしませんので、JAXAウェブサイト等で公開される調達情報を随時御確認ください。